



録画配信はこちら

公共施設個別計画について

Q 計画を議会に示し、協議の場を持つこと

A 議員のご意見やアイデアをいただく機会を設ける



辰己 保 議員



近江上布伝統産業会館と愛知川武道館

答 (町長) 愛知川武道館・体育館は、前期計画の除却の検討も含めて集約化するための基本的な方向性に変更はない。

問 第1期後期計画案では、愛知川武道館・体育館、近江上布伝統産業会館の方向性を変更されている経緯と考え方を問う。

公共施設個別計画

答 (町長) コンパクトシティ化は一極集中中等などの誤解を生んでいる。現在の自治会形成による居住エリアを生かしつつ、スケールメリットを生み出せる、感じられる地域づくりを推進していくことと考える。

問 グランドデザイン2040や立地適正化計画では、居住誘導など中心拠点の位置づけと役割を占めるコンパクトシティ構想がある。計画と構想は、自治会をどのような方向に導こうとしているのかを問う。

コンパクトシティ構想と自治会(町内会)

答 (町長) 議会と情報共有を図りながら進める。行政施設のあり方という課題に向き合うに際し、議員のご意見やアイデアをいただく機会を設けていく。

問 町長の恣意的な事業の進め方をチェックするためにも、個別施設計画を議会に示し、協議の場を持つことを進言する。

答 (町長) 議会と情報共有を図りながら進める。行政施設のあり方という課題に向き合うに際し、議員のご意見やアイデアをいただく機会を設けていく。

マイナ保険証

問 マイナンバーカード保険証の取得率は。

答 (町長) DXが一層進むなかでも、デジタルの視点とアナログの視点の両輪により、各自治会の負担感を軽減しつつ魅力ある地域づくりを推進いただけたらと考えている。

DXによる行政と自治会の関係

問 庁舎の集約化での行政事務は、デジタル化で簡素化できるが、行政と自治会のデジタル化はどのように変化すると考察しているのか。

答 (町長) DXが一層進むなかでも、デジタルの視点とアナログの視点の両輪により、各自治会の負担感を軽減しつつ魅力ある地域づくりを推進いただけたらと考えている。

問 大小52の自治会の高齢化、担い手不足などの共通課題、そして近接する自治会での共通テーマを自治会単体でその役割を担うのではなく、自治会の集合体でより大きな成果を発揮できる仕組みづくりが求められており、それらをつなぐ役割が行政には求められていると考えている。

学校給食費無償化

問 すべての子育て世帯支援となる学校給食費の無償化を求める。

答 (町長) 今年度も、食材費の価格高騰分を保護者にご負担を求めることなく、地方創生臨時交付金を活用して補填する。

問 マイナ保険証の不保持者の窓口負担は、保持者より高く徴収されるのは差別診療ではないのか。

答 (住民課長) 本年4月末現在、国民健康保険加入者3592人の内1692人がマイナ保険証を取得され、取得率は47.1%である。

国道307号線改良工事

Q 工事に対する町からの要望は

A 通学路の区間でもあり、安全対策の強化充実と歩道の設置を要望



録画配信はこちら

国道307号線改良工事

問 国道307号線が改良されると聞いている。その実施時期と工事範囲はどのようになっているのか。

答 (建設・下水道課長) 国道307号道路改良工事の範囲は、町道名神国八線が接続する交差点からスマートインターチェンジへ向かう北側130mの区間において、道路拡幅及び右折レーンの設置が予定されている。

また、同交差点から東近江市へ向かう南側60mの区間においても道路拡幅が行われる予定であり、同交差点における渋滞の解消と町道への乗り入れがスムーズに出来るよう計画されている。

令和4年度には、交差点形状を決定するため、交差点予備設計が実施され、今年度は、交差点詳細設計を発注し実測図の成果を用い、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計のうえ、工事発注に必要な図面・報告書を作成される予定である。



道路拡幅が予定されている国道307号線(松尾寺地先)

その後、用地測量、対象地権者からの用地買収が行われた後に着手となるため、現在のところ、工実施時期は未定である。

県に対する町の要望は

問 国道工事の実施者(県)に対し町の要望は伝えられているのか。また県の意向に従わなくてはならないのか。

答 (建設・下水道課長) 工事に対する町からの要望は、国道307号の交差点を通り、町道へ渡る区間は通学路になっていくため、工事中や完成後においても歩行者・自転車の安全対策がより強化充実されるよう要望する。

また、工事区間となる交差点付近には、信号待ちの溜まり場として歩道が設置されているが、国道307号には歩道がなく、今年度発注される交差点詳細設計で、歩道設置についても検討するよう県に要望する。

県の意向に従う必要があるのかとの質問であるが、今後、地元や町と協議をしながら事業が進められると聞いているため、引き続き関係機関と連携を取り、町の意向が多く反映されるよう努める。

東近江市との間にある宇曾川に架かる橋の拡幅

問 国道307号の東近江市との間にある宇曾川に架かる橋の拡幅工事もあるのか。現状のままであれば拡幅工事の意味がない。

答 (建設・下水道課長) 今回の工事では、宇曾川に架かる橋の部分は工事区間に入っていない。今後の拡幅予定についても、現時点で計画はないと聞いている。

宇曾川を渡った東近江土木事務所管内で計画されている平柳バイパスについても、工事区間が東近江市祇園町から池ノ尻町までの5kmで、宇曾川の橋はその区間に入っており、現時点では拡幅の予定はないと聞いている。

今回工事予定の交差点は、幅員に余裕がなく右折溜りもないことから、通勤時間帯において渋滞が発生しており、本工事により渋滞緩和に一定の効果があると考えている。